

スポーツ健康科学紀要

第11号

目 次

論文

超音波Bモード法による下肢筋厚と体力テストとの関係
～スポーツ健康科学実技Ⅰにおける大学新入生男子を対象として～
..... 一川 大輔・山崎 享子・安田 智洋 (1～10)

大学体育授業における運動好き群の自己愛傾向とセルフ・エフィカシーとの
関係性 重藤 誠市郎・奥田 功夫・一川 大輔 (11～19)

学校における避難所機能に関する質的研究 金田 英子 (21～27)

陸上競技選手における強化合宿中のコンディション指標としての
筋硬度測定の可能性 塩田 徹 (29～38)

幼稚園児が履く靴の実態に関する研究
～足と靴の適合性と足部変形に着目して～ 塩田 徹・北島 信哉 (39～44)

近世後期における羽州湯沢～江戸間の旅のルートと歩行距離について
～天保11年『諸國道中記』の分析から～ 谷釜 尋徳 (45～54)

近世後期における江戸庶民の勧進相撲興行見物の実際 谷釜 尋徳 (55～77)

研究ノート

グループの力を自己学習力へ活かす (3)
～プロジェクト・アドベンチャーの活用～ 田代 浩二・坂本 太郎
山路 歩・高野 哲郎 (79～92)

資料

フィジー共和国とトンガ王国のカバ文化 金田 英子 (93～96)

東 洋 大 学

2014年3月



東洋大学

ス ポ ー ツ 健 康 科 学 紀 要

第 11 号

東 洋 大 学

東洋大学スポーツ健康科学紀要編集委員会規定

第1条（目的）

この規定は、東洋大学スポーツ健康科学委員会が発行する「東洋大学スポーツ健康科学紀要」（以下「紀要」という）の編集および発行について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条（編集委員会）

「紀要」の編集、発行、その他「紀要」に関する事項を処理するため「スポーツ健康科学紀要編集委員会」（以下「委員会」という）を設置する。

第3条（委員）

1. 「委員会」は次の研究室で組織する。
 - (1) 東洋大学「スポーツ健康科学白山研究室」および「工学部スポーツ健康科学研究室」の室員
2. 委員の任期は2年とし再任を妨げない。

第4条（委員長および副委員長）

1. 委員会に委員長1名および副委員長1名を置く。
2. 委員長および副委員長の選出は委員の互選による。
3. 委員長は委員会の会務を総括する。
4. 委員長は必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

5. 委員長に事故あるときは、副委員長が代行する。

第5条（審議決定事項）

1. 委員会は次の事項を審議、決定する。
 - (1) 「紀要」の編集に関する事項。
 - (2) 「紀要」の発行に関する事項。
 - (3) その他、委員会が必要と認めた事項。
2. 前項以外の投稿・執筆に関する事項は別に定める。

第6条（会議）

1. 委員会は委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。
2. 会議の議事は出席委員の過半数で決定する。ただし、議長は採決に加わらないものとする。
3. 前項で可否同数の場合は議長の決するところによる。

第7条（改正）

この規定の改正はスポーツ健康科学委員会の議を経てスポーツ健康科学委員会委員長が行う。

附 則

この規定は平成20年11月15日から施行する。

東洋大学スポーツ健康科学紀要投稿規定

第1条（目的）

東洋大学スポーツ健康科学「紀要」に投稿するものは、この規定の定めるところによる。

第2条（投稿資格）

執筆者は原則として東洋大学スポーツ健康科学白山研究室および工学部スポーツ健康科学研究室の室員ならびに法学部、工学部に所属し、スポーツ健康科学の授業を担当する非常勤講師とする。

第3条（申込および締め切り）

執筆申込および原稿締切期限は年1回発行の場合、次の各号の通りとし、年2回発行の場合は、その都度別に定める。

- (1) 執筆申込は、別に定めるスポーツ健康科学「紀要」執筆申込書を7月15日までに提出する。
- (2) 原稿の提出は11月30日までとする。
- (3) 上記(1)、(2)の提出先は委員長および副委員長とする。

第4条（原稿の種類）

この「紀要」に投稿できる原稿の種類は、論文・総説・資料・研究ノート、研究活動報告、彙報などとする。

第5条（タイトル）

投稿する原稿は和文または欧文とし、和文原稿には欧文タイトル、欧文原稿には和文タイトルを付す。

第6条（摘要）

投稿する原稿には摘要（タイトル・執筆者氏名とも）をつけることとする。

- (1) 和文原稿の場合は外国文による摘要・外国原稿の場合は和文による摘要とする。
- (2) 分量は紀要1ページ以内とする。
- (3) 掲載場所は各原稿の最初とする。
- (4) 但し、摘要の掲載は原則であり、必ずしも原稿掲載の条件とはしない。

第7条（抜刷）

抜刷は論文1篇につき50部とする。ただし、それ以上を希望するものは原稿提出時50部を単位として別に申し込むものとする。

第8条（改正）

この規定の改正はスポーツ健康科学委員会の議を経てスポーツ健康科学委員会委員長が行う。

附 則

この規定は平成20年11月15日から施行する。

東洋大学スポーツ健康科学紀要執筆要領

1. 東洋大学スポーツ健康科学「紀要」に投稿するものは、この執筆要領の定めるところによる。
2. 原稿枚数は原則として、和文の場合は400字詰め原稿用紙80枚以内、欧文の場合はA4タイプ用紙にダブルスペースで打ち40枚以内とし、

それを越す場合はあらかじめ委員会の承認を必要とする。

3. 活字指定、そのほか、図・写真・表・参考文献・引用文献などの扱いは委員会に一任する。
4. 原稿に執筆者投稿票を附して提出する。

「スポーツ健康科学（白山キャンパス）研究室」スタッフ一覧

専任教員

【法学部】

三浦美沙子，金田英子，平井伯昌，谷釜尋徳

【経済学部】

塩田 徹，角南俊介

【経営学部】

西村 忍，安則貴香

非常勤講師

今野 亮，佐久間 康，須田和也，田代浩二，番場裕之

「スポーツ健康科学（川越キャンパス）研究室」スタッフ一覧

専任教員

【理工学部】

一川大輔，山崎享子

非常勤講師

小川貴志子，奥田功夫，重藤誠市郎，高畑 隆，田口直樹，長澤純一，藤城仁音，安田智洋

◆執筆者（筆頭著者）一覧◆

1. 一川 大輔（イチカワ・ダイスケ／理工学部 生体医工学科）
2. 重藤誠市郎（シゲトウ・セイイチロウ／非常勤講師）
3. 金田 英子（カネダ・エイコ／法学部 法律学科）
4. 塩田 徹（シオダ・トオル／経済学部 総合政策学科）
5. 谷釜 尋徳（タニガマ・ヒロノリ／法学部 法律学科）
6. 田代 浩二（タシロ・コウジ／非常勤講師）

◆編集後記◆

『スポーツ健康科学紀要』第11号をお届けします。今回は合計9編の原稿が掲載の運びとなり、各々の専門分野から多様な視点が提供されています。投稿者の先生方をはじめ、本誌の編集作業にご協力をいただいた皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年9月のIOC総会で、2020年の夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が「東京」に決定いたしました。この東京大会や2016年のリオデジャネイロ大会においては、選手や指導スタッフとして本学関係者の活躍が大いに期待されています。

本誌では、こうした競技スポーツの世界はもちろん、人間の運動や健康にまつわるバラエティに富んだ情報（研究成果）を、今後も絶えず発信していけるよう努めてまいります。

また、この3月末をもって三浦美沙子教授（法学部企業法学科）がご退職されます。近年、ベテランの先生方の退職に伴う教員の入れ替わりが相次ぐ中、先生には常に適確なご助言とご指導をいただいて現在に至ります。長きにわたって、本学のスポーツ健康科学教育を支えてこられた三浦先生のご功勞に感謝の意を表しますとともに、今後の益々のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

（谷釜 記）

2013年度「スポーツ健康科学紀要」編集委員

委員長 谷釜 尋徳（法学部）
委員 三浦美沙子（法学部）
委員 金田 英子（法学部）
委員 塩田 徹（経済学部）
委員 西村 忍（経営学部）

スポーツ健康科学紀要 第11号

2014年3月13日 印刷

2014年3月14日 発行

編集兼
発行人 東洋大学スポーツ健康科学委員会
東京都文京区白山5丁目28番20号

制作 蔦友印刷株式会社
東京都文京区白山1丁目13番8号
電話 03(3811)5343

JOURNAL OF SPORT AND HEALTH SCIENCE

No. 11

March, 2014

CONTENTS

Articles

Relationship between lower extremity muscle thickness using
B-mode ultrasound and physical test in college students

..... ICHIKAWA Daisuke, YAMAZAKI Kyoko, YASUDA Tomohiro (1~10)

Relationship between narcissism tendency and self-efficacy in
pro-exercise males in college physical education class

..... SHIGETO Seiichiro, OKUDA Isao, ICHIKAWA Daisuke (11~19)

Qualitative study on the function of shelters in Japanese schools

..... KANEDA Eiko (21~27)

The usefulness of the muscle hardness measurement for the evaluation
of conditions in middle-distance runners during camp

..... SHIODA Toru (29~38)

A study on the actual condition of shoes kindergarten wear

~By paying attention to foot deformation and fit of the shoe and foot~

..... SHIODA Toru, KITAJIMA Shinya (39~44)

Travel routes between Ushu Yuzawa and Edo and walking distances in
the later term of Edo period~Analysis of the *Shokoku Dochuki* (1840)~

..... TANIGAMA Hironori (45~54)

Spectating by Edo commoners at Kanjin-Sumo in the later term of
Edo period

..... TANIGAMA Hironori (55~77)

Research report

Group empowerment for Self-learning-skills (3)

~a practical use of Project Adventure~

..... TASHIRO Koji, SAKAMOTO Taro
YAMAJI Ayumu, TAKANO Tetsuro (79~92)

Standing material

Kava drinking culture in Fiji and Tonga KANEDA Eiko (93~96)

Published by

TOYO UNIVERSITY

28-20, Hakusan 5-chome, Bunkyo-ku,
Tokyo, Japan



TOYO UNIVERSITY